

スペインから来日したトップコーチからのクリニックを実施しました。

サッカーの真髄を学んだ実技、講義の濃密な3時間

6月12日（木）に、スペインで多くのプロ選手を育成しているコーチ（UEFAプロライセンス保有）を本校グラウンドに迎え、実技、講義からなるクリニックを、サッカー部男女あわせて希望者52名が受講しました。クリニックの企画・通訳は、スペイン・バルセロナにこれまで14年在住し、選手、コーチとして活躍する小堺めぐみさん（慶應義塾大学卒）が務めてくださいました。

実技では、まず試合を想定した状況判断を伴うプログラムを実践して、コーチからコーチング、フィードバックを都度いただきました。相手や味方の状況を認知しながら、主体性を持って、次のプレーを意図し、実行してい



くスペインフットボールの真髄に触れることができました。

また、講義では、スペインのトッププロ選手が、コーチと協力しながら、どのように自身のプレーを改善していくのか、実例を基にした説得力のある説明がありました。またコーチからの様々な問いかけによって、受講生徒からも様々な意見を引き出していただき、今後の成長の糧となる有意義な学びとなりました。



サッカーはグローバルなスポーツであり、このクリニックは、世界との距離を計る機会となりました。日々の学業、練習にどのように打ち込んでいくか、今後の活動に活かしていきます。

